

1. 科目名 (単位数)	国語 (書写を含む) (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2281 JCEL2411
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義 演習 討議 発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	国語 (日本語) 能力の養成・強化を主とする。発音・アクセント・方言等の日本語の特質や語法・表現技法に至るまで、日本語の基礎的知識を習得するとともに、語彙力や文章表現力の養成に努める。また幼児の発達段階を踏まえ、実際の絵本等児童文化教材の分析から、国語 (日本語) の使用方法を実感的に理解する。どのような指導を行えば言語能力を向上させていくことができるのか、具体的な教材を用いることで言語能力を高める。		
8. 学習目標	1, 国語科教育の歴史や意義を踏まえ、国語 (日本語) 能力を高める。 2, 言葉の機能や教科としての国語の特質を理解し、説明できるようになる。 3, 話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと的能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、指導者としてふさわしい言語能力を身につける。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	国語の学習では実技を中心に行う。ノート等の紙・鉛筆 (B、2B) を用意して授業を受けること。 1. 毎回、授業終了前に授業内容についてのリアクションペーパーを提出する。 2. 作文 (小論文) の実作を 2 回提出する。 3. 期末レポート (1,000 字程度) を提出する。(期末試験を実施しない。) 【注】やむを得ず欠席 (公休でも同様) した場合には、教科書及び授業で使用した資料を熟読し、次回までに 200 字程度のコメントを提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ① 長谷川祥子『はじめて学ぶ人のための国語科教育学概説』明治図書、2018 ② 江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第四版』三省堂、2021 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領 (平成 29 年度告示) 解説 国語編』東洋館出版、2018 この他、毎回の授業でシートや資料等を提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 国語 (日本語) 能力を高め、言葉の機能や教科としての国語の特質を理解したか。 2 話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと的能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、指導者としてふさわしい言語能力を身につけることができたか。 ○評定の方法 授業態度 50 % 提出物等 30 % 期末試験 20 % 上記のほか、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の条件である。		
12. 受講生へのメッセージ	国語科教育の目的は、児童生徒に社会生活で通用する言葉の力をつけることです。そのためには、指導者として国語科の授業の方法を身につける必要があります。この授業では、小学校の教科書教材を取り上げて模擬授業を行うことにより、よい発問やよい話し合いの仕方を体験的に学びます。子どもに対する深い理解に基づく指導方法を身につけ、授業実践に生かす積極的な学修を期待します。		
13. オフィスアワー	随時授業時間内で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	【オリエンテーション】講義の概要や成績評価方法等を知る。筆順の基本的知識を理解する。(テキスト②使用)	事前学習	国語を学ぶ目的を明確にもつ。
		事後学習	筆順の基本的な原則を整理する。
第 2 回	○言葉と論理の関係を調べ、確認する。一論理的な文章の種類を理解する。	事前学習	配布されたテキストで予習する。
		事後学習	要点をとらえる技法を習得する。
第 3 回	○文章の読解の方法を研究する。一範読と斉読の違いを確かめる	事前学習	低・中学年の説明的文章の教材を読む。
		事後学習	低・中学年の説明的文章の特徴をまとめる。
第 4 回	○説明的文章を「読む」教材 (高学年) を研究する。	事前学習	高学年の説明的文章の教材を読む。
		事後学習	高学年の説明的文章の特徴をまとめる。
第 5 回	○「書く」教材 (低・中学年) を研究する。	事前学習	「書く」教材を読み、課題をもつ。
		事後学習	低中学年の小作文を実作する。
第 6 回	○「書く」教材 (高学年) を研究する。	事前学習	「書く」教材を読み、課題をもつ。
		事後学習	高学年の小論文を実作する。
第 7 回	○説明的文章を「読む」ことと「書く」ことに関連について研究する。	事前学習	言葉の理解と表現について調べる。
		事後学習	理解と表現の関連についてまとめる。
第 8 回	○書写 (硬筆) の教材を研究する。	事前学習	書写教材 (硬筆) の指導の課題を考える。
		事後学習	書写教材 (硬筆) を実作し、完成する。
第 9 回	○書写 (毛筆) の教材を研究する。	事前学習	書写教材 (毛筆) の指導の課題を考える。
		事後学習	書写教材 (硬筆) を実作し、完成する。
第 10 回	○音声言語としての「話す・聞く」活動の実践について研究する。	事前学習	スピーチの話材を準備する。
		事後学習	スピーチの課題をもつ。
第 11 回	○「話す・聞く」活動～スピーチを実演する。	事前学習	スピーチ用のメモに書いて練習しておく。
		事後学習	スピーチについて自己評価する。

第12回	○物語文の授業のための教材研究をする。	事前学習	指定された物語文を音読する。
		事後学習	物語文指導の基本技術を理解する。
第13回	○物語文の発問の研究をする。	事前学習	指定された物語文の発問を作る。
		事後学習	発問の原理・原則を理解する。
第14回	○「読み聞かせ」の価値と技法を研究する。	事前学習	「読み書かせ」する本を選び、練習する。
		事後学習	「読み聞かせ」の技能を高める。
第15回	○「読み聞かせ」の保育指導案（日案）を作成する。	事前学習	「読み聞かせ」の授業プランを立てる。
		事後学習	保育指導案を完成させる。